

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	co・co・ai児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広いので、色々なプログラムを取り入れやすい。	屋内でも体を動かす活動を行ったり、曜日毎にプログラムに偏りがないようにしている。	安全に過ごせるように、コーナガードで危険な場所を保護し、怪我等をないように見守り強化していく。
2	専門職の言語聴覚士や保育士が在籍しており、個別での療育実施と、小集団での療育もできる。	個別療育スペースで集中して取組める様になっている。保護者や併行通園先の先生との面談や見学を積極的に行い療育アドバイスをを行っている。	保護者会を開催し、専門的な療育講習会を実施し家庭でも取り入れやすくしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期研修等、常勤職員は参加できているが、非常勤職員の参加が少ない。	勤務日以外の出勤が難しい。	当日参加が出来る様に、オンライン参加にしたり、もしくは複数回に分けて研修を行う。
2	ホームページやSNS等の投稿が定期的に発信できていない。	ホームページやSNSの投稿が不慣れな為投稿が少なくなっていた。	ホームページ更新や、SNSの技術知識の向上を行う。
3	保護者同士の交流が図れる機会が少ない為、保護者同士が繋がる機会を設けられるようにしたい。	お仕事をされている保護者が多い事や、スタッフの確保が困難だった為。	保護者の安心を得られるように、環境や時間を調整する等を工夫し保護者が孤独にならない様に、保護者同士が繋がりをもてる取組を行う。